

中国平和統一促進会代表団 華僑中国和統会と座談会

王冀軍・中国平和統一促進会副秘書長を団長とする中国平和統一促進会訪日代表団（一行四名）は一月十三日午後、東京華僑会館での全日本華僑華人中国平和統一促進会（略称：華僑中国和統会）との座談会に出席した。

この座談会の席上、金一

王冀軍・中国平和統一促進会副秘書長を団長とする中国平和統一促進会訪日代表団（一行四名）は一月十三日午後、東京華僑会館での全日本華僑華人中国平和統一促進会（略称：華僑中国和統会）との座談会に出席した。

王冀軍団長は次のように語った。

日本人は常に祖国の富強と統一を待ち望んでい

この二年来、海峽兩岸の關係は大きく変化している。私たちは会の活動を通して祖国の平和統一の華僑団体が祖国統一のために、少しでも多く

王冀軍団長は「独立反対、統一促進」の勢力を絶えず強固にし、拡大するよう希望する。

王团长は更に海峽兩岸關係の進展と国内の経済・社会建設の状況を紹介した。

出席者は、祖国統一事業は新たな契機を迎えており、海外の華僑・華人は祖国統一促進のためいっそう努力すべきだと表明した。

王团长は座談会の終りに金軍会長に「鉄肩担道義 促統当先鋒」のペナントを贈呈した。

また、この座談会には中国駐日大使館の呂小慶参事官が出席した。

王冀軍团长は座談会に先立って東京華僑総会を訪問し、陳焜旺日本華僑華人聯合總會名誉会長、符易亨同会長、廖雅彦東京華僑總會会長を表敬訪問した。金軍会長、陳玳珩日本新華僑華人会会長らが同席した。

同代表団は十一日日本に到着したもので、中国平和統一促進会代表団の訪日は初めて。



座談会の席上、全日本華僑華人中国平和統一促進会の金軍会長（右3）に記念のペナントを贈る王冀軍中国和統会代表団团长（左2）



座談会で兩岸關係の進展について語る王冀軍团长